
バーチャルゲーム

肥後

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バーチャルゲーム

【Nコード】

N2444B

【作者名】

肥後

【あらすじ】

ゲームの中に人間が入るゲームが開発され、それを遊んでいた、昇と章太のストーリー・・・

(前書き)

こんな風になったら・・・

あるゲームセンターにバーチャルリアリティーのゲームがあった。このゲームは、自分がゲーム内に入り、自分自身が動くゲームだった。

そのゲームにはまっている。吉田 昇と佐藤 章太の姿が今日もあつた・・・

昇は、50回以上、

章太は、80回以上やったことのあるそこそこのベテランだった。

今日も、いつも通りプレイすることにした。

昇と章太は、スペシャルモードを選択した。

スペシャルモードとは、イージーモード、ノーマルモード、ハードモード、スペシャルモードの四段階の一番難しいものだった。

そして、ゲームはいつも通り始まった。

最近、二人はスペシャルモードばかりやっていて、クリアしたことはないが、この間、ゴール手前でゲームオーバーになってしまった。今回は、やはりクリアを目標にしていた。

ゲームが始まって10分後、二人は変化に気付いた。

「ここって・・・」

そこは、一度もやったことの無い場所に着いた。

昇は、

「行つて見ようぜ！」

と、言った。

章太も面白半分で、

「いいよ。」

と、言つて進むのだった・・・

しかし、いくら進んでもゴールが現われることはなかった。

ゲームの世界に取り残されてしまった・・・

昇は、

「どこだよ、ここ」

と、キレていた。

章太は、

「やめたいよー」

と言うが、ゲームオーバーになるか、クリアをしないと、出られない仕組みになっていた。

しかし、ゲームオーバーになるには、敵に遭遇してやらなければならないが、いっさい、敵は出てこなかった・・・
出口も見当たらない・・・

二人は、ゲーム内にもかかわらず寝ることにした。

しかし、眠りから覚めても依然ゲームのなか・・・

オレら助からないのかなぁー、と二人は内心、思った矢先、急に空から声が聞こえた。

「どちらかが、ゲームに残り、もう一人は現実の世界へ、送る・・・」

「

と、言った・・・。

章太は、自分でここに残るといった。

「俺の方がやった回数も多いし、ここを抜けてみたい。」

と、言いだしたのだった。

こうして、昇は現実へ章太は、ゲーム内へ・・・

昇は、現実に戻ってきた。

自分は、急いで店の人へ連絡したが、

「きみ、一人でやってたじゃないか・・・」

笑いながら、答えた。

意味がわからなくなった。

頭の中で考えたが、理解できなかった。

仕方なく、自分は家に帰った・・・

次の日、学校へ行ったが章太の姿が無く、さらに学校中、章太のことを覚えていなかった・・・

その日の夜から、夢の中で章太が、出てきたが、日々に忘れてい

く・・・。

とぅとぅとぅ、忘れてしまった。

記憶とは、はかないものだと思う・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2444b/>

バーチャルゲーム

2010年10月11日13時59分発行